



川薩地区1市4町4村

川内市・樋脇町・入来町・東郷町・祁答院町
里 村・上郷村・下郷村・鹿島村

法定合併協議会だより

2004
第15号
平成16年10月発行

発行責任者：川薩地区法定合併協議会／会長 森 卓 朗／編集：川薩地区法定合併協議会事務局 川内市神田町3番22号
TEL.0996-23-5111 FAX.0996-22-6295 E-mail info@sensatu-gappei.kagosima.jp ホームページアドレス http://www.sensatu-gappei.kagosima.jp/

薩摩川内市長職務執行者に黒瀬一郎氏(旧樋脇町 長)



川内市内で開かれた第22回法定合併協議会



新市の市章候補5点を決定

最後の法定合併協議会を開催(10月4日)

川薩地区法定合併協議会の最後となる第二十二回協議会は十月四日、川内市内で開かれ、平成十六年度事業報告・決算見込みを承認したほか、十月十二日発足の新市の薩摩川内市長職務執行者に黒瀬一郎氏(旧樋脇町長)の選任を承認しました。

市長職務執行者は、薩摩川内市誕生から市長選で新市の市長が選ばれるまでの間、市長の職務を行います。九月二日に開かれた川薩地区一市四町四村の市町村長会で市長職務執行者として黒瀬氏を選任し、十月四日の法定合併協議会に報告しました。また新市の収入役職務代理者には会計課長があたることも報告されました。

このほか、新市の市章は千五百四十七人・三千十二点の応募作品の中から、薩摩川内市市章候補検討委員会が選定した五点を候補として、新市に引き継ぐことを決定しました。新市の市章は十二月中に決定する予定です。

また指定金融機関・収納代理金融機関、薩摩川内市の防災体制、合併記念式典案、各種団体の協議状況、事務の進捗状況なども報告されました。

なお薩摩川内市の市長選は、十月三十一日告示、十一月七日投票の予定となります。

不退転の決意と互譲の精神で解決への道 みんなのでつくり、育てていく薩摩川内市に

法定合併協議会を終えるにあたり

川薩地区法定合併協議会

会長 森 卓朗



項目等について委員の皆様方にご審議いただきました。この二年間にわたるご審議に対して心から厚く御礼を申し上げます。

合併協議にあたっては、構成市町村についての問題、各種行政サービスの調整、一部事務組合の取り扱いなど課題もありましたが、住民の皆様をはじめとする数多くの方のご意見、協議会での熱心な議論を重ね、心をひとつにし、合意形成を目指す不退転の決意と互譲の精神により解決への道が開かれ、県内で初めて川薩地区九市町村による薩摩川内市の誕生を迎えることになりました。

この間、それぞれの市町村におかれては各種のアンケート調査やまちづくり広聴会、合併説明会など積極的にご協力をいただき、住民の皆様との合併協議に多大なるご尽力をいただきました。各市町村の議会議員、各種団体の皆様、節目ごとの確な

川薩地区法定合併協議会の審議のすべてを終りました。振り返りますと、平成十四年十月に川西薩地区任意合併協議会を立ち上げ、十四年十二月に川西薩地区法定合併協議会、翌十五年七月に川薩地区法定合併協議会となり、川西薩地区任意合併協議会を含めて三十四回もの会議を開いたこととなります。この間、営々と四十六項目にわたる基本協定

ご指導をいただいた国、県の関係者の皆様方にも厚く御礼を申し上げます。次第です。

特に、ここまで持つてくるには六千六百四十四項目にわたる調整をしてきた各市町村の助役など幹事会の皆さん、不眠不休で合併に向けた事務を担ってきた合併事務局の職員の皆さんに対しても心から感謝を申し上げます。

十月十二日から薩摩川内市の市長職務執行者に就任される黒瀬町長におかれては、市町村合併という歴史的な転換期に極めて重要な職務を執行していただくこととなりますが、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

十月八日には各市町村で閉庁式が行われます。全国から注目されている大型合併と言われた薩摩川内市の誕生ですが、これまで昼夜兼行で事務一元化、電算ネットワークの整備

等に取り組んできていただいた各市町村千三百七十名の全職員の労をねぎらいたいと思います。

当協議会は十月十一日をもって解散となり、いよいよ十月十二日、新生薩摩川内市がスタートします。行政改革を進めながら、それぞれが合併してよかったと言われるように、みんなで創り、みんなで育てていく薩摩川内市でなければならぬと思っておりますので、最後まで皆様方のお力添え、ご協力を賜りたいと思う次第です。

市長職務執行者就任にあたり

黒瀬 一郎



市長職務執行者として選任されましたが、新しい市長の誕生まで職員の方々と共に力を合わせてこの重責を全うしてまいりたいと考えています。皆様方の変わらないご指導等をお願いいたします。

《川薩地区法定合併協議会 平成16年度事業報告》

●会議関係

期 日	事 業 内 容
平成16年 4 月	14日 薩摩川内市市章候補検討小委員会第1回会議
	22日 第18回幹事会
	27日 第17回協議会 (15年度事業・歳入歳出決算、廃置分合申請等の報告)
5 月	20日 第19回幹事会
	28日 第18回協議会 (16年度歳入歳出補正予算、住所表示の変更に係る主な手続き等の報告)
6 月	17日 第20回幹事会
	24日 第19回協議会 (薩摩川内市に係わる県議会議決、地区コミュニティ協議会制度等の報告)
7 月	22日 第21回幹事会
	29日 第20回協議会 (合併手続きの進捗状況、新市オンラインシステム並行運用開始等の報告)
8 月	20日 第22回幹事会 薩摩川内市市章候補検討小委員会第2回会議
	26日 第21回協議会 (串木野樋脇清掃組合調整方針の変更、薩摩川内市市章募集結果等の報告)
9 月	4 日 薩摩川内市市章候補検討小委員会第3回会議
	16日 第23回幹事会
10月	4 日 第22回協議会 (16年度事業報告・歳入歳出決算見込み、市長職務執行者選任等の報告)

●住民への情報提供

- ・協議会議事録 構成市町村に2部発送し、構成市町村でも閲覧できるほか協議会HPでも公開
- ・協議会だより A4判4～8ページ・2色刷り、7回(9号～15号)発行
構成市町村に全戸配布
- ・市民便利帳 A4判99ページ・2色刷り、構成市町村に全戸配布
- ・ホームページ 平成15年7月10日から公開、随時更新、約200ページ
平成16年9月29日現在のアクセス数は56,674件

●事務事業一元化関係

- ・制度確定協議調整
開設作業項目の抽出・整理／細部事務事業の調整／事務処理マニュアル作成
専門部会38回開催／分科会96回開催
- ・例規原案作成に係る準備作業
- ・調整会議等
コミュニティ調整会議12回開催／情報政策調整会議1回開催
地域防災計画検討会議9回開催／サイン計画検討会議2回開催

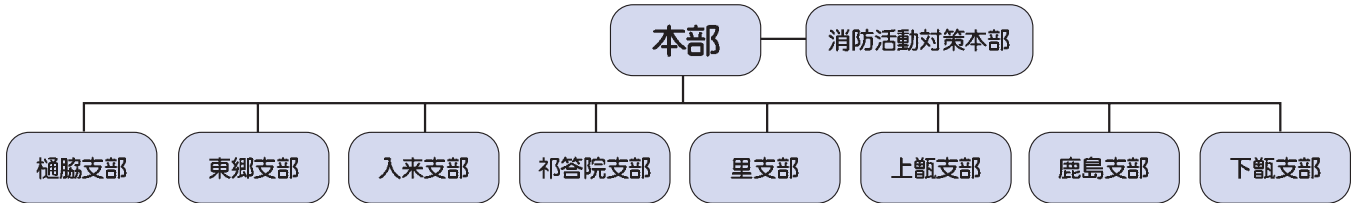
《平成16年度歳入歳出決算見込み》

- ▷歳入の部 7,109万9,822円(協議会構成市町村負担金等)
- ▷歳出の部 6,775万5,226円
 - ・会議運営費 (508万3,244円)
 - ・事務局運営費 (2,276万8,412円)
 - ・広報広聴費 (818万3,220円)
 - ・準備事務事業費 (2,916万4,310円)
 - ・市章募集検討事業費 (255万6,040円)
- ▷差引残高 334万4,596円
(差引残高は薩摩川内市に歳入する)

● 薩摩川内市の防災体制 ●

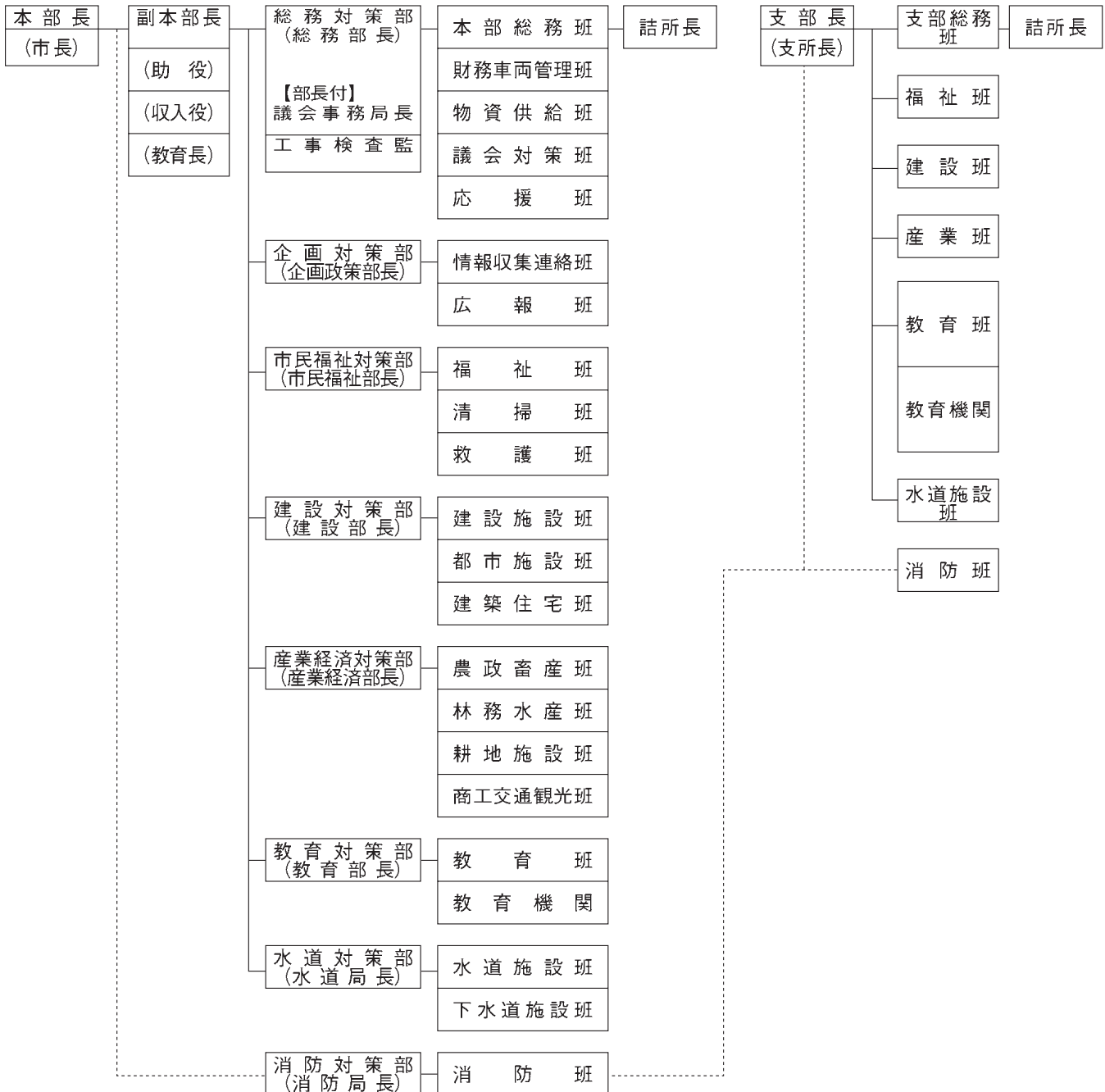
薩摩川内市地域防災計画

本計画は、過去に発生した災害及び地勢、気象、その他地域の特性から想定される災害に対し、風水害などの「一般災害対策」「地震災害対策」「原子力災害対策」の3編に分けて、それぞれ災害予防、災害応急対策、災害復旧・復興などについて定めるものです。これまでに素案を作成しており、今後、県と協議するとともに新市での防災会議での審議を経て、今年度中の計画策定・承認を目指すことになります。

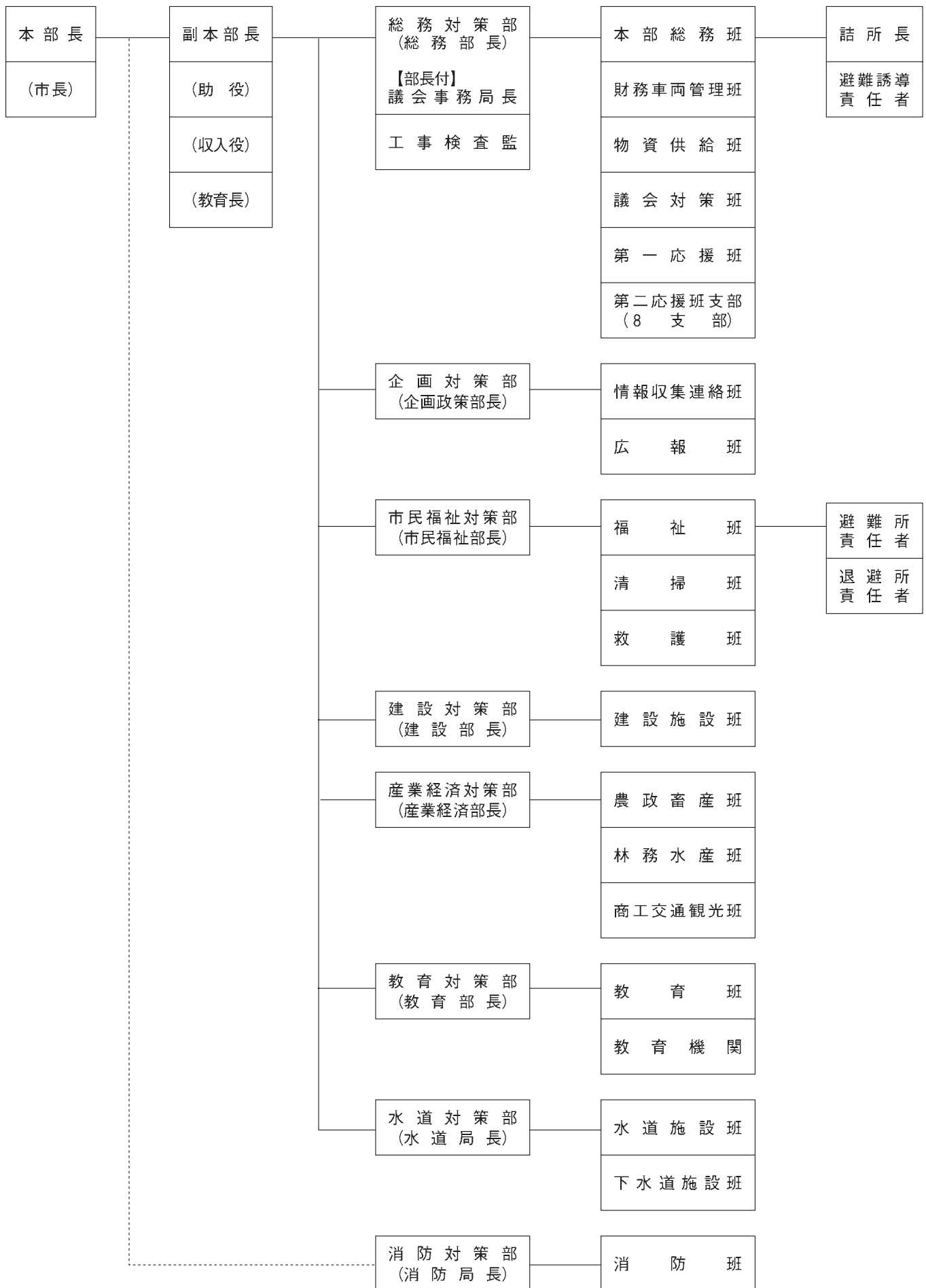


※薩摩川内市災害警戒本部組織図 (案) もこれに準じます。

(風水害・地震) 災害対策本部・組織図



(原子力) 災害対策本部・組織図



● 薩摩川内市の市章候補 5 作品を紹介します ●

6月1日～7月31日に行われた薩摩川内市の市章募集の結果、1,547人から3,012点の応募がありました。薩摩川内市市章候補検討小委員会では8月9日、専門家のアドバイザーに応募作品の中から34点を選定してもらい、その中から小委員会で10点に絞り、9月4日の小委員会でさらに5点に絞り込み、10月4日の法定合併協議会で市章候補として決定。この中から薩摩川内市の市章が12月決定する予定です。

薩摩川内市「市章」候補作品図案

No	図案	趣旨	選定理由
1		頭文字「S」をモチーフにして、青は川内川をあらわし、緑は山々の自然のやすらぎを、また無限をあらわしています。全体として、地域への広がりを感じているイメージです。	新市の自然の特長をSに絡め、曲線で全体をまとめ柔らかさの中に安定感のあるデザインになっている。
2		薩摩と川内の頭文字、2つの「S」をモチーフに「人」を表し、拡大していく造形で新市、市民の発展、「力（地域力、都市力）」を表現しました。またベースの円は、地域力、都市力、人、歴史等さまざまな「調和」を表現しています。小サイズ、単色使用等の汎用性を考慮したシンプルな造形を試みました。色は、自然をイメージしブルーとしました。	シンプルでユニークなデザインで、薩摩と川内の頭文字、2つのSをモチーフに人の人を素材に取り組んでいる点も評価できる。
3		薩摩川内市の「S」「川」のイニシャルと漢字を組み合わせ表現しました。合併する市町村の地域力の「市民」「行政」「企業」（大自然の緑で表しました。）が力を合わせて取り組んでいき、大きな都市力（青の海・川で表しました。）をつけ、明るい未来を築くことを表現しました。	薩摩川内市の「S」のイニシャルと「川」の漢字を組み合わせ表現している。円に近い外形にまとめ、より広がりを感じている。
4		グリーン、ブルーは海、山、川、平野で実り豊かな自然を表わし、歴史ある薩摩人の気質をイメージに融和・調和、先進性・創造性、地域の活性化等、魅力ある豊かな都市づくりを目指して力強く躍進する新市の姿を薩摩の頭文字「S」と川内の「S」の両英字をモチーフにデザインしました。	海、山、川の豊かな自然を表現し、まとまりのあるデザインで新市の特長もうまく捉えている。
5		薩摩川内市の「さ」をモチーフに、薩摩川内市の美しい自然風景、地域力が一つとなって、未来に躍動する薩摩川内市と市民の姿を表現しました。	線の太さ、細さをうまく取り入れて、曲線で全体を構成しながら、安定感のあるデザインになっている。

● 指定金融機関等について ●

1 指定金融機関

鹿児島銀行

2 収納代理金融機関

金融機関名	指定方式
南日本銀行	個店指定（川内支店、甕島支店、下甕支店）
鹿児島相互信用金庫	法人指定
鹿児島信用金庫	個店指定（川内支店、宮之城支店）
宮崎銀行	法人指定
宮崎太陽銀行	法人指定
熊本ファミリー銀行	法人指定
九州労働金庫	個店指定（川内支店）
さつま川内農業協同組合	法人指定
さつま農業協同組合	個店指定（大村支所、黒木支所、藺牟田支所）
鹿児島県信用漁業協同組合連合会	個店指定（西薩支店川内営業店、甕島支店）
鹿児島県信用組合	個店指定（宮之城支店）
日本郵政公社	法人指定

● 各種団体の協議状況について ●

○社会福祉協議会

月 日	事 項	合 併 期 日
平成15年 8 月 6 日	川薩地区社協合併協議会設置	平成16年10月12日
平成16年 4 月 5 日	調印式	
7 月 23 日	県知事認可書受理	

○シルバー人材センター

月 日	事 項	合 併 期 日
平成15年10月29日	川薩地区シルバー人材センター統合協議会設置	平成17年 4 月 1 日
平成16年 3 月 19 日	調印式	
7 月 26 日	県知事認可	

○川薩地区老人クラブ合併協議会

月 日	事 項	合 併 期 日
平成15年12月16日	川薩地区老人クラブ合併協議会設置	平成17年 4 月 1 日
平成16年12月14日	調印式（予定）	
平成17年 4 月 1 日	薩摩川内市老人クラブ連合会設立（予定）	

○薩摩川内市観光協会準備協議会

月 日	事 項	合 併 期 日
平成16年 7 月 29 日	薩摩川内市観光協会準備協議会発足	平成17年 4 月 1 日
平成17年 4 月 1 日	薩摩川内市観光協会設立（予定）	

○川薩地区商工会合併対策合同研究会（商工会設置）

月 日	事 項	合 併 期 日
平成16年 6 月 11 日	第 1 回川薩地区商工会合併対策合同研究会開催	平成18年 4 月 1 日（目標）
平成18年 4 月 1 日	合併目標	

○薩摩川内市体育協会設立準備委員会

月 日	事 項	合 併 期 日
平成16年 9 月 14 日	第 2 回体育協会長会で準備委員会の設立を確認	平成17年 4 月 1 日
平成17年 4 月 1 日	薩摩川内市体育協会設立（予定）	

川薩地区法定合併協議会の歩み

- 平成14年10月7日 2市4町4村で川西薩地区任意合併協議会を設置
(同協議会は計4回開催)
- 12月15日 兵庫県篠山市から講師を迎え、市町村合併講演会を開催
- 12月25日 2市4町3村で川西薩地区法定合併協議会を設置
- 平成15年1月10日 新市まちづくり計画に向け、まちづくりフォーラム発足
- 4月1日 新市名称募集(～5月31日)
- 5月11日 まちづくりフォーラム提言報告会を開催
- 7月10日 川西薩地区法定合併協議会の休止を決定
(同協議会は計8回開催)
- 1市4町4村で川薩地区法定合併協議会を設置
- 8月12日 新市まちづくり計画原案を提案(第3回協議会)
- 8月17日 関係市町村52会場でまちづくり広聴会開催(～9月13日)
- 8月25日 新市名称を募集(～9月25日、9,490件の応募)
- 12月24日 新市の名称を薩摩川内市と決定(第12回協議会)
新市まちづくり計画を決定(同)
合併協定46項目すべての審議を終了
- 平成16年1月19日 各市町村の62会場で住民説明会を開催(～2月7日)
- 2月19日 9市町村が合併協定書に調印
- 3月9日 各市町村の議会で廃置分合(合併)議案を可決(～26日)
- 4月5日 県知事に廃置分合を申請
- 5月11日 テレビ会議システムが運用開始
- 6月1日 新市の市章を募集(～7月31日、応募総数3,012点)
- 6月28日 県知事から合併決定書が交付される
- 6月29日 各市町村役場に新市誕生までのカウントダウンボード設置
- 7月16日 総務大臣が薩摩川内市設置を告示
- 7月23日 各市町村で地区コミュニティ協議会制度の説明会(～9月)
- 8月8日 「地域の活性化」等をテーマに新市誕生シンポジウム開催
- 9月4日 4町4村で閉町・閉村式(～10月3日)
- 9月23日 合併に伴い各役場での引っ越し作業(～10月4日)
- 10月4日 第22回協議会で法定合併協議会でのすべての審議を終了
- 10月8日 9市町村で一斉に開庁式
- 10月12日 薩摩川内市誕生、本庁・各支所で開庁式

新市誕生記念式典(案)

薩摩川内市の誕生を記念し、まちづくりの基本理念としている「地域が奏でる都市力の創出」を目指し、新市誕生記念式典を開催します。新市の融和と理解を深め、市民が心をひとつにし、新市の誕生を祝い、市内外に新市の誕生を発信するために開催するものです。

- 開催予定日 平成17年2月12日
※今後の調整により、13日に変更される場合があります。
- 開催場所 薩摩川内市川内文化ホール(旧川内市民会館)
- 式典次第 郷土芸能、新市紹介ビデオ放映、市制施行功労者表彰、市章採用者表彰、子どもたちによる未来へのメッセージ等



川西薩地区任意合併協議会も含め計34回も開かれた協議会



協議会に向けて助役等が参加して開かれた幹事会



東郷町で開かれたまちづくりフォーラム提言報告会



新市名称は「薩摩川内市」と決定



平成の大合併では県下第1号となった合併協定調印式



シンポジウムでは地域ブランド力向上に向けて活発に議論